

公益社団法人 日本ボディビル・フィットネス連盟
平成 29 年度 定時社員総会議事録（抜粋）

I. 日 時 平成 29 年 6 月 18 日（日） 14：00～16：30

II. 場 所 東京都港区高輪 3 丁目 1 3-1 TAKANAWA COURT 3F
TKP 品川カンファレンスセンターANNEX ホール 3

- 出席正会員（33 名）
- 出席委任正会員（19 名）
- 欠席正会員（8 名）
- 出席監事（2 名）

事務局より、本総会は会員現在数 60 名の内、出席者 33 名、委任状の提出による議決権の代理行使 19 名の合計 52 名で、過半数に達し定足数を満たしており、適法に成立している旨が報告された。

開会に先立ち、玉利会長が欠席のため藤原副会長が議長に選出された。また、議事録署名人には、宮畑豊正会員、及び島袋正和正会員が指名された。

III. 議 事

【決議事項】

第一号議案 平成 28 年度計算書類承認の件

- ・事務局より、平成 28 年度計算書類及び事業報告書並びにこれらの附属明細書【資料①・②】に基づき、それらの内容について説明があった。
- ・これについて、佐藤監事より、監査の結果適正であるとの報告がなされた。【資料③】
- ・議長は、計算書類の承認について、その賛否を議場に諮った。
- ・結果 全員賛成により承認を可決。

第二号議案 理事及び監事の任期満了に伴う改選の件

- ・議長より、理事 20 名と監事 3 名の全員が本総会の終結の時を以て任期満了となるため、改めて選任する必要があるところ、理事会から理事候補者 20 名と監事候補者 3 名の提案があるので、これに基づいて選任したい旨の提案があり、承認され選任に入った。
- ・結果 以下の通り選任可決。

《理事 20 名》

玉利 齊	全員賛成
石井 直方	全員賛成
吉田 進	全員賛成
赤木 恭平	全員賛成
藤岡 秀樹	全員賛成
水嶋 章陽	全員賛成
藤原 達也	全員賛成
酒井 孝	全員賛成
中尾 尚志	全員賛成
青田 正順	全員賛成
辻本 俊子	全員賛成
加藤 勇	全員賛成
宮畑 豊	全員賛成
宮島 望	全員賛成
荒木 章	全員賛成
谷本 明禧	全員賛成
木下 俊昭	全員賛成
五十嵐 清四郎	全員賛成
元木 俊博	全員賛成
水尾 仲秀	全員賛成

《監事 3 名》

辛島 保馬	全員賛成
植田 剛彦	全員賛成
佐藤 和弘	全員賛成

第三号議案 理事の報酬総額決定の件

- ・議長より、理事の報酬総額を年額 700 万円とし、その個別の配分方法を理事会に一任したい旨の説明があった。
- ・結果 全員賛成により可決。

【報告事項】

《理事会承認事項の報告》

1. 規程の改定について

- ・事務局より、選手権大会実施規程、及び公認審査員認定規程、並びに加盟クラブ認定

規程の改定内容について報告があった。【資料④】

2. 新規公認クラブの認定について

- ・事務局より、以下のクラブ・同好会が新たに認定された旨の報告があった。

《正公認クラブ》 MUSCLEGYM 富山県連盟 代表：守田善昭

《準公認クラブ》 トレーニングジムリバイブ 静岡県連盟 代表：河原春海

フィットネスクラブ ZONE 宮崎県連盟 代表：志田 誠

《準公認社会人クラブ》

昭和不動産ボディビル・フィットネスクラブ 代表：徳田和昭

《正公認同好会》 チーム K ボディビル・フィットネス同好会

愛知県連盟 代表：川尻 博

3. IFBB プロ申請について

- ・事務局より、倉地美晴選手を IFBB プロに申請する旨の報告があった。

《その他事項の報告》

- ### 4. 木下理事より、パフォーマンス集団 ALLOUT が展開するマッスルカフェの実態についての報告があった。

- ### 5. 沖縄県連盟松田相談役より、沖縄県連盟の新体制についての報告があった。

- ### 6. 朝生正会員より、SPORTEC CUP 2017 の進行スケジュール及び出場予定選手数についての報告があった。

- ### 7. 青田理事より、以下の報告があった。

①スポーツ団体の経営力強化（女性役員登用促進について）

- ・スポーツ庁から、各種団体の理事に含まれる女性の割合を増やすべきことを提言された。女性役員 3 割を目指すこと。

②JBBF 主催大会開催による助成金の支援助とオールジャパンフィットネス選手権大会の開催について

- ・東京と大阪で交互に行われている日本選手権を行いつつ、実施内年度にオールジャパンフィットネス選手権を二つの地域で行うことを検討する。収益金の一部を日本連盟主催大会の運営資金として主管連盟に助成する。

③アンチドーピング講習会の実施について

- ・平成 29 年度も計画通り講習会を開催する。今年度には開催しない地方連盟は平成 30 年度に向けて開催を計画するよう要望する。

- ④ボディビル・メンズフィジーク選手の不適切な活動について
- ・オールアウト(マッスルアカデミー)の実施するイベントは、本来のボディビル・フィットネス競技活動とは相反する行為である。係わる選手に対しては、注意を促し選手登録抹消にかかわる事項とする。
- ⑤フィットネス女子選手による SNS 等 web を通した不適切な写真の投稿について
- ・注意喚起文をホームページなどに掲示する。
- ⑥海外の賞金がかかる大会参加についての制限
- ・賞金が出るアマチュア大会がある。この大会に登録選手が出場するに際しては、IFBB の主催・主管であっても、国内の他団体の選手が出場する場合は問題がある。海外派遣費の支出については、予算の関係から状況に応じて検討する。
- ⑦カラーリングの使用について
- ・今年度の申請団体を考慮しつつも、メーカーにおける在庫数が限られるため、状況により判断していく。使用可能大会の終了後、一週間以内に禁止されている大会がある場合は注意が必要。
- ⑧選手が行うセミナーの扱いについて
- ・ジム所属のコーチは所属する会社の事業として実施する分には問題ない。個人で行う場合は連盟の許可を受けるように。また、日本連盟が活動の場を設ける必要もある。今後、規約の整備が必要なため継続して検討していく。

以上、各報告責任者から報告され終了した。

以上で本日の議事を終了し、議長は協力を謝して閉会とした。

平成 29 年 6 月 18 日